

三重県廃棄物処理計画 取組方向及び目標値について

10年後のめざす姿

基本理念
○ 3Rや適正処理の一層の取組
○ 環境保全と安全・安心の確保
○ 貴重な資源やエネルギー源として一層有効活用
○ 「協創」の考え方による多様な主体の取組の推進
↓
低炭素社会及び自然共生社会の形成 資源生産性を高め循環型社会の定着を実感

10年後のめざすべき姿

自然界における循環と 経済社会の循環の調和
<p>家庭 ものを大切にすることが浸透しています。</p> <p>事業者 長く使える環境に優しい良質な製品やサービスを提供し、排出する廃棄物については貴重な資源として最大限有効利用する意識と行動が浸透し、環境負荷が少なく安全・安心が確保された質の高い循環が行われています。</p> <p>廃棄物処理の現場 県内の全ての地域で、環境負荷が低減され安全・安心が確保された質の高い循環を行うための体制が整備されています。</p> <p>大規模災害への備え 東日本大震災や紀伊半島大水害等の経験や教訓を生かし、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて災害廃棄物処理が行われるための体制が整備されています。</p>

5年間の取組方向

ごみゼロ社会の実現	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	施策
ごみの発生・排出が極力抑制され、排出された不用物が資源やエネルギー源として地域で最大限有効活用されることをめざします。	1人1日あたりのごみ排出量 ※災害廃棄物の量を除く	986g/人日	936g/人日	発生・排出抑制推進 多様な主体と「ごみを出さない生活様式」や「ごみが出にくい事業活動」の定着等に取り組み、家庭系ごみと事業系ごみの減量化を進めます。
	資源化率	30.4%	33.3%	循環的利用の推進 各種リサイクル法の推進に加え、多様な主体による資源回収を促進するとともに、再使用、使用済小型家電の回収等、質の高い循環の形成に向けた取組を推進します。
	最終処分量	50,042t	30,000t	未利用エネルギーの有効活用の推進 ごみの持つ未利用エネルギーの有効利用を促進します。
				公正で効率的なごみ処理システムの構築 廃棄物会計やごみ処理カルテなどを活用し、公正で効率的なごみ処理システムの構築を促進します。

産業廃棄物の3Rの推進	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	施策
産業廃棄物の発生・排出が極力抑制され、排出された産業廃棄物が貴重な資源やエネルギー源として最大限有効活用されることをめざします。	排出量	8,440千t	7,920千t	発生・排出抑制の推進 排出事業者の自主的な取組や環境配慮設計された製品等の研究開発の推進、産業廃棄物税の活用等により産業廃棄物の発生・排出抑制を進めます。
	再生利用率	43.0%	43.6%	循環的利用の推進 認定リサイクル製品の利用推進や使用済製品の自主回収ルート等の構築等の再生利用の取組を推進するとともに、再使用、未利用エネルギーの回収を促進します。
	最終処分量	258千t	234千t	
				※過去の不法投棄等不適正処理の是正に係る最終処分量を除く

廃棄物処理の安全・安心の確保	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	施策
廃棄物の適正処理や不法投棄等不適正処理対策を推進するとともに、災害廃棄物の処理体制を整備することで、生活環境の保全と安全・安心の確保を図ります。	電子マニフェストの活用率	34%	60%	産業廃棄物の適正処理と透明性の確保 電子マニフェストの活用、優良認定処理業者の育成、処理状況の公開等により、多様な主体と産業廃棄物の適正処理と透明性の確保に取り組むとともに、PCB廃棄物の早期処理を推進します。
	不法投棄等不適正処理事案に対する改善着手率	67.3%	100%	産業廃棄物の不法投棄等の未然防止と早期発見 産業廃棄物の不法投棄等不適正処理の未然防止と早期発見・早期是正に向け、監視指導の強化に取り組めます。
	不適正処理4事案に係る行政代執行による是正措置の進捗率	25% (H26実績)	100%	産業廃棄物の不適正処理の是正措置の推進 過去に産業廃棄物が不適正処理された4事案（桑名市五反田、桑名市源十郎新田、四日市市大矢知・平津、四日市市内山）について、行政代執行により着実に環境修復を進めます。
	実効性のある災害廃棄物処理体制の整備市町数	0	29市町	災害廃棄物の処理体制の整備 大規模災害に備え、災害廃棄物を適正かつ円滑に処理するための体制を整備します。

重点取組						
当計画期間内に特に注力すべき5つの個別課題に目標を設定し重点的に取組を進めます。						
<p>1 使用済小型電子機器等の回収 枯渇性資源の有効活用の観点から使用済小型電子機器の再資源化の取組を促進します。</p> <table border="1"> <tr> <th>目標項目</th> <th>現状 (H26年度)</th> <th>目標値 (H32年度)</th> </tr> <tr> <td>使用済小型電子機器等の回収量</td> <td>0.32kg/人年</td> <td>1kg/人年</td> </tr> </table>	目標項目	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)	使用済小型電子機器等の回収量	0.32kg/人年	1kg/人年
目標項目	現状 (H26年度)	目標値 (H32年度)				
使用済小型電子機器等の回収量	0.32kg/人年	1kg/人年				
<p>2 未利用エネルギーの有効活用 廃棄物のもつ未利用エネルギーの有効活用を進めます。</p> <table border="1"> <tr> <th>目標項目</th> <th>現状 (H25年度)</th> <th>目標値 (H32年度)</th> </tr> <tr> <td>ごみの未利用エネルギー回収量</td> <td>1.15MJ/t</td> <td>1.49MJ/t</td> </tr> </table>	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	ごみの未利用エネルギー回収量	1.15MJ/t	1.49MJ/t
目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)				
ごみの未利用エネルギー回収量	1.15MJ/t	1.49MJ/t				
<p>3 優良認定処理業者の育成 廃棄物処理や財務状況について透明性が確保される優良認定処理業者について、育成と普及について取り組みます。</p> <table border="1"> <tr> <th>目標項目</th> <th>現状 (H25年度)</th> <th>目標値 (H32年度)</th> </tr> <tr> <td>優良認定処理業者数</td> <td>216</td> <td>420</td> </tr> </table>	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	優良認定処理業者数	216	420
目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)				
優良認定処理業者数	216	420				
<p>4 PCB廃棄物の早期処理の推進 PCB廃棄物が早期に適正処理されるよう、事業者による処理を推進します。</p> <table border="1"> <tr> <th>目標項目</th> <th>現状 (H25年度)</th> <th>目標値 (H32年度)</th> </tr> <tr> <td>PCB廃棄物の適正処分率</td> <td>37%</td> <td>90%</td> </tr> </table>	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	PCB廃棄物の適正処分率	37%	90%
目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)				
PCB廃棄物の適正処分率	37%	90%				
<p>5 産業廃棄物の不法投棄の早期発見・早期対応 不法投棄により生活環境への支障が生じないように、未然防止及び早期発見、早期是正に努めます。</p> <table border="1"> <tr> <th>目標項目</th> <th>現状 (H25年度)</th> <th>目標値 (H32年度)</th> </tr> <tr> <td>一定規模(100t)以上の不法投棄の発生件数</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </table>	目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)	一定規模(100t)以上の不法投棄の発生件数	2	0
目標項目	現状 (H25年度)	目標値 (H32年度)				
一定規模(100t)以上の不法投棄の発生件数	2	0				